

主要施策名:(5)国際交流の推進

事務事業本数:1

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業 コード	事務事業	所管課
②人と文化を育む地域づくり	(5)国際交流の推進	(1)国際交流活動の推進	251-1	国際交流事業	企画経営課



《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 国際交流協会支援事業	協会への補助金交付及び運営支援を行う。	自主活動事業数	回	14	13	13	14
② 友好姉妹都市公式訪問・受入事業	友好姉妹都市への公式訪問や公式訪問団の受入を行う。	公式訪問回数	回	0	0	1	0
③ 国際交流奨励費補助事業	補助金を交付することにより国際交流を促進する。	補助金交付件数	件	34	13	25	30

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算	
	対象(全市民)	67577	67242	66850	66319			
投入コスト合計(千円)	2,995	2,720	7,321	4,448				
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0				
コスト評価(対前年比)	***	109.57%	(↑)	36.94%	(↓)	163.28%	(↑)	

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
			H28実績	H29実績	H30実績	H31実績
1 各種国際交流事業参加者数	国際交流協会事業に参加した人数	人	1300	1300	1300	1300
			1500	986	958	
2 奨励費補助金を出した割合	支出/予算	%	100	100	100	100
			39	25	75	

\* 成果未達成時の理由 各種国際交流事業参加者数については、英会話教室、韓国語教室の参加者が減少したことによる未達成。奨励費補助金については、制度についての認知向上が進んでいないことにより、目標が未達成となっていると考えられる。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input checked="" type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由( 事業の性格上難しい ) [24]	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	クラリダ市の公式訪問については、前回2名だった市内中学生を3名に増やし、青少年の国際感覚醸成に努めた。玉名国際交流協会に対しては、会員増加に対して助言を行った。奨励費補助金については、より多くの方に利用されるよう要綱や運用面での見直しを検討していくとともに、更なる周知を図った。国際交流奨励費補助金については、ホームページ・広報紙での周知に加え、協会の韓国事業説明会にて奨励費補助金の事業説明も実施した。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	令和2年度にクラリダ市公式受入については、クラリダ市の学生にも参加してもらい、玉名市学生との交流やホームステイを通じて、訪問学生及び市内学生の国際感覚の醸成に努める。次に、国際交流協会については、市の財政状況が厳しくなっていく中、活動を継続的に進めていくためにも、会員数を増やして自主財源の確保を図り、市補助金に頼らない経営状況を作らなければならない。そのためにも、他団体の活動内容や情報発信方法などの事例研究や協会への情報提供を行う。また、奨励費補助金については、より多くの方に認知されるよう、更なる周知を図る。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄

評価責任者(課長)の所見 [27]	本市においては近年外国人研修生の増加が顕著であり、今後は外国人労働者も増加するものと予想しており、このような状況を踏まえた新たな国際交流事業についても検討していきたい。	評価責任者 蟹江 勇二
-------------------	--	----------------